

Weekly Report

2020～2021年度



令和3年1月5日(火)
第2020回例会



ロータリーは
機会の扉を開く

作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブ
の例会は、毎週火曜日の午後
12時30分から13時30分まで
行われております。この例会は、
お互いの成長を促すこと
が目的です。また、例会は、
お互いの健康や、企業での
リスクヘッジの問題等あります
ので、その辺を鑑み、躊躇せず
に休会としたいと思います。
皆さま宜しくお願いいたします。

◆ 会長/赤本 昌広 ◆ 幹事/平岡 勉 ◆ 会報/玉井 智春

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2020回例会記録 令和3年1月5日(火) 22/44回

<点鐘> 赤本会長

<ソング> 君が代、我等の生業

<お客様ご紹介> 赤本会長

江戸川大学客員教授

横浜DeNAベイスターズ二軍監督 仁志敏久様

米山奨学生 シャプカティー君

→「明けましておめでとうございます。今年の目標は日本語がペラペラになることです。よろしくお願ひいたします」。

赤本会長よりシャプカティー君に奨学金が授与されました。

<会長報告> 赤本会長

先に、理事会報告です。

- ・下期地区資金支払いの件
- ・緊急事態宣言後の例会の件 発令されましたら、皆様に休会のお知らせをご連絡いたします。1月の例会は休会がほぼ決定しております。2月以降の再開時期に関しては、緊急事態宣言期間に合わせた形で対応しようと考えております。

・社会奉仕事業 麻生区少年野球連盟リーグ戦大会協賛金の件

・地区委員の推薦の件

以上、理事会にて承認可決されました。

以下、会長報告です。

1. 第2590地区 第1、第2、第3グループ合同IM開催中止の案内

2. 2021-22年度 地区委員候補者推薦の件

3. 第33回全国ロータリーアクト研修会本登録の案内

3/14(日) 14:30～19:00 オンライン開催
ご興味ある方は事務局まで

緊急事態宣言が発令され、緊張感ある日々が送られることになると思います。できる限り例会は開催したいと思っておりますが、それぞれの健康や、企業でのリスクヘッジの問題等ありますので、その辺を鑑み、躊躇せずに休会としたいと思います。皆さま宜しくお願いいたします。

<幹事報告>

平岡幹事

*近隣クラブ例会変更・案内

川崎麻生RC、川崎中RC、川崎とどろきRC

*その他

・1月ロータリーレート 1\$=104円

例会の休会明け、ロースター通りに進まない中で、また皆様ご無理のない範囲でお願いするかと思います。卓話など話したいという方がいらっしゃいましたら、声をかけていただければと思っております。

<ニコニコ委員会>

鈴木文夫委員長

赤本会長→「本日は、仁志さんによる招聘卓話です。横浜DNAベイスターズの二軍監督として活動されます。応援をよろしくお願ひいたします」。平岡幹事→「皆様、明けましておめでとうございます。『まきば』さんより、いつにも増して素敵なお花を有

第2021回・第2022回・第2023回 未定

緊急事態宣言の発出により、1月の例会は休会となりました。

難うございます」。大矢会員→「私の作品、梅、椿、二点が総理官邸に飾られました」。福家会員→「コロナを避け、満員電車を避けていますので、時間がタイトになり、例会を欠席しています。ご勘弁ください。今年もどうぞよろしく」。以下、感謝を込めてニコニコへ。阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、鴨志田会員、菊池会員、小島会員、小塚会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、野島会員、岡村会員、親松会員、佐々岡会員、嶋会員、鈴木孝英会員、玉井会員、高山会員、渡邊会員、山口会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員、鈴木文夫会員。

<出席委員会>

小塚委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2020回	46	37	9		80.43%
第2019回	46	37	9	4	89.13%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	31件	35,000円	720件	773,000円
財団	0件	0円	8件	136,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	105,000円
米山	0件	0円	19件	290,000円

本日のプログラム

<招聘卓話>

ご紹介者 赤本会長

今年から、横浜DeNAベイスターズ二軍監督就任されご活躍されます。白井会員が一番仲良くされていると思いますが、私と平岡幹事も何度かゴルフで一緒させていただいております。本日は、よろしく願いいたします。



仁志敏久様 プロフィール

茨城県古河市出身49歳

選手歴：常総学院高等学校、早稲田大学、日本生命、読売ジャイアンツ、横浜ベイスターズ、アメリカ独立リーグ ランカスター・バーンストーマーズ

指導歴：サザンメリーランド・ブルークラブス、野球日本代表(侍ジャパン)[2013-2020]

筑波大学大学院修士号取得

江戸川大学客員教授[2020~]授業：スポーツ指導者

江戸川大学客員教授

横浜DeNAベイスターズ二軍監督 仁志敏久様

侍ジャパンアンダー世代12才以下を6年間、育成指導しました。江戸川大学で客員教授として、スポーツ指導者の授業をしております。本日は、スポーツ指導者が、企業の経営者が部下や従業員へ対応がリンクする部分もあり、お話をさせていただきます。



◆スポーツ指導者とは

・元プロ野球選手なのか、アマチュア選手なのか、職業的に指導されているのか、ボランティアなのか
→選手や子どもには全く関係なく責任は変わらない。

特に、このような時期、コロナ禍において、スポーツの存在意義、価値を考えなければいけない。社会的、世間的に無くても社会は回ります。スポーツをする意味があるのか、どんな意味があるのか、必要なのかどうか、携われる人間が証明しなければならない。それが私の使命であり、考えであります。

◆指導者の存在とは

・教える事と認識されていますが、実際には教えるというよりも伝えるのが指導者の役割→指導する側は、指導される側よりも、知識があり、経験がある。自分が持っている知識や経験を、持っていない人に伝える。それを踏まえた自分の考えを伝えるというのが役割です。教えるという上から物を考えるような指導の仕方は、野球ではまだ残っていますが、実は他の競技団体ではそのような指導はされなくなってきている。
・伝えるということ→究極でいうと、生まれつき目

が見えない、耳が聞こえないという人たちに、どう伝えるかということ。部下や従業員に分からなければ分かりやすく、更にはもっと分かりやすく伝えるというのが責務。伝わっていないのは、伝えていないのと同じ、伝えきるのが大事。

◆人格の尊重

子どもたちの人格を忘れてしまう指導者がたくさんいる。大人にとって子どもは、大人のジュニア版みたいを考えているが、子どもには子どもの人格があり、子どもの人生を歩んでいる。親にとっては子どもの人生が自分の人生の一部に感じ、人格を忘れがちになってしまう。親が子どもたちに指導するときに、よく起こりがちになってしまう。しかし、子どもの人生は親とは別の物であり違う人格です。親の人生の一部ではないという認識が必要。

◆指導理念

- ・自分で考えて行動する人間になる。
- ・今後の人生のヒントを与え理解させる。
- ・常に社会の中で中心的な存在になれるような人材づくりを行う。

◆子どもたちの育成、成長における留意点

- ・子ども「だから」「だからといって」の使い分け
- …シビアに見て線引きを考えて指導
- ・プレイについて所詮出来ないものだと思っ見る
- …出来ると思っているからそうになってしまう。(少年野球では未だに残っている罵声や暴力)
- ・心理の理解と人格の尊重…年代によって心理の変化の理解。子どもたちに使う言葉や考えさせたりすることが変わってくる。幼稚園ぐらいの年齢でも他の子と競争する意識が芽生えている。小学校低学年ではその意識が磨かれ、中期、高学年になると、自分がどの位うまく出来るのか人との比較だったり、もう少し成長すると人からのフィードバックだったり評価によって自分の有能性を確認していく。
- ・成長段階を見極める(練習時間、メニューは計画的に)…年代によってやり方を変える必要がある。幼児期(運動する前の運動時期)に色んな事を覚えさせることで運動能力を高めることになる。

◆話を聞く側の環境を整える

- ・太陽の位置を見る

- ・暑い日は日陰を見つける
- ・疲れている状況では座らせる
- ・落ち着いた時間に話をする

◆必要なことは全て事前に伝える

- ・振り返って問題を提起
- ・なぜそうなったのか?
- ・ほかにどんな方法があったか?
- ・次からはどうするのか?
- …肯定的に受け止め、答えは全て選手から。

「なるほど!」という魔法の一言。

身体心理学では、口角を上げて話を聞くと、脳に良い話だと伝達が届く。真一文字では逆の効果。

◆望ましいしいコーチング

- ・チームの誇りの重要性を強調すること
- ・各人のチームへの貢献が価値を持つことを明確にすること
- ・チームの成功のために、メンバーがどれくらい相互依存しているかを示すこと
- ・チームの成員性がメンバーの価値を高めていることを認識させること
- ・パフォーマンスがどれくらい改善可能か、トレーニングにどれくらい熱中すべきか十分に説明すること
- ・問題解決は感情的にならず、穏やかな行動をとること
- ・一つ否定的な言葉を与えたら、四つほめること
- ・ある方法が効果がないとわかったら、良い方法に変えるという柔軟性を持つこと
- ・無関心で、内向し、孤立したメンバーに注意すること

◆望ましくないコーチング

- ・無気力を学習させる
- ・他の生活を壊して優秀なパフォーマンスを追求すること
- ・競技者自身を批判すること。競技者の誤った行動を批判する方が有効
- ・競技者をコーチングの情報源として過大評価すること
- ・否定的な発言「～しなければ負ける」を連発すること。「～すれば成功する」という言い方のほうが有効

◆考えさせることを繰り返すことで

- 自分で考え行動する人間に

- 自在にアイデアを作り出す
- “すべきこと”と“やらなければならないこと”の理解

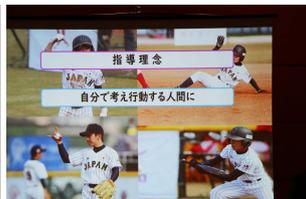
- ・指示を待つ子ではなく…率先して動くリーダーの育成
- ・指導側の満足な指導ではなく…子どもたちに最適な指導をする
- ・「楽しいだけ」「厳しいだけ」でなく…「勝つこと」「楽しむ事」の追求 楽しいのはき違え、笑う事ではない。
- ・“かもしれない”“～になりそうだ”…事故や問題の範疇 天候や体調管理など、一生に一度は必ず起こると考えて行動
- ・目の前子ども達だけへの指導ではなく…その向こう側へと続く指導 自分の発した言葉が向こうの人達に繋がる事を意識する。

人を育てているという自覚や覚悟を持たないと、指導者はできない。親であったり大人であったりという部分では、特に見返りを求めてはいけないと思っています。

最後に持論ですが、指導する立場にある人間は、指導に値する知識を得る事、あらゆる困難に対応するに教養確保が必要である。指導者にとって明確な正解や答えが無いので、従って指導者であり続けるならば学び続けることが必要不可欠である。

今日の話が皆様の仕事に役立てればと思います。野球の方もぜひ応援してください。

卓話後に質疑応答が設けられ、阿久澤会員から「体を改善できないコーチ陣を直す方法はありますか」との問いに、「自分の非を認めたくない人間は指導者講習会には来ない。いかにどう伝えるか、力量です」と、答えられました。



■乾杯

嶋副会長

密を避け、マスクをして、コロナ感染が減るように。新年、明けましておめでとうございます。

■祝い事

嶋志田親睦委員長

会員誕生 赤本会長、小島会員、笠会員、高山会員、鈴木文夫会員

配偶者誕生 嶋会員、渡邊会員、山口会員の配偶者様

会員入会 渡邊会員、山口会員、中村会員

嶋志田親睦委員長より、プレゼントが渡されました。

■お食事～ご歓談



令和3年、新年第1回目の例会は昼開催となり、特別昼食をいただきました。コロナ禍で、1月7日に二度目の緊急事態宣言が、首都圏1都3県で発令されるとあり、各所での対応が迫られますが、また皆様と笑顔で再開できるようお祈りいたします。

<点鐘>

赤本会長